

148 カヤクグリ

(スズメ目)

Prunella rubida

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

サハリン南部、千島列島、日本などで繁殖し、繁殖後は暖かい地方に渡り、越冬する。日本では、北海道と本州北部には周年生息し繁殖する。本州中・南西部、四国の高地でも少数が繁殖する。繁殖後は繁殖地周辺の低山や山麓の夏緑広葉樹林、林縁の藪などに生息する。繁殖期は昆虫類やクモ類を採食するが、秋から冬には草木の実を食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、伊豆諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、伊丹市、豊岡市、★加古川市、西脇市、★宝塚市、★川西市、三田市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、★神河町、佐用町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局地的 繁殖	希少
○	○				○	○	○	○	○



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌4月に生息するが、氷ノ山山頂周辺では6-10月にも記録があり、少数が繁殖している。最近は減少傾向が著しい。

保護上の留意点

極めて局地的な分布となっている繁殖地の保全および越冬場所の夏緑広葉樹林の保全が重要。また、毎年同じ場所に渡来する例が多いので、その場所の環境改変を極力少なくすることが重要。